

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり，管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型のサービスの意義を踏まえたグループホームはるかぜの理念を毎朝出勤職員が申し送り後に唱和をしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう，事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公民館の総会、夏祭り、防災訓練などの行事参加をし、地域の方々との交流を積極的に行うように努めている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の老人会の方々が訪れ、レクレーションなどで交流を図っている。その後、お茶を飲んだり触れ合う時間も設けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	介護保険や利用料金、サービスの実際、評価の取り組みなど実際に運営推進会議などの時公表している。意見を聞いて記録を行い、サービス向上に活かしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	生活保護を受給されている方が現在4名入居されている。市の介護相談員の受け入れやケアプラン提出時保護課の職員へ直接届けており、情報の交換や協力・信頼関係を持っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	開設当時より玄関口の鍵は付いていない。自動ドアも電源を切っており誰でも自由に開閉できるようにしてある。現在身体拘束をしている入居者はいません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月一回の事業所ミーティングの中の職場内研修で高齢者虐待について職員全員が学んでいる。言葉の虐待がないよう職員気を付けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	月一回の事業所ミーティングの後に職場内研修をしていてこの制度について学ぶ機会を設けている。成年後見人制度についても研修を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約・解約時は2人対応で読み上げ説明をし、本人と家族代表と一緒に不安や疑問などをゆっくり時間をかけて聞く対応をしている。改定等の際はその都度書類を郵送して同意をもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議のご案内を毎回家族便りでお知らせし、意見を聴いている。ご面会時にも「何か要望等ありませんか」と聴く様にしている。また各居室入口に「ご家族とホームの交換ノート」を設置している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の事業所ミーティングで職員の意見を聴き、月1回の管理者会議で職員の意見や提案があれば発表し、結果を翌日のミーティングで報告している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員個々の努力を評価し、代表者に伝え、各自が向上心を持って働けるよう環境・条件の整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症ケアは専門性がある事を周知していただく為、法人内外の研修を受けられるように勤務体制の確保をしている。ケアの仕方については随時指導を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣にある同系列のグループホームや老人保健施設で開催される研修会にスタッフは参加している。また楽しいホーム独自のレクリエーションを披露しに出向いて交流をしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居申し込みがあった時点で見学に案内したり、こちらから出向いたりして早めに本人や家族と面談したりして、入居に至るまでの安心を確保している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居等の相談があるとまず見学に来られる様に案内し、実際にここでの生活を見ていただいている。そしてご本人・ご家族の不安や要望に答え、安心して入居されるように説明をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用を開始する段階での相談は、ご本人・ご家族の思いや状況などを確認した上で支援に向けた提案や相談を聴いた上で必要なサービスに繋げるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の方々を人生の先輩であるという考えを職員全員で共有し、入居者の方々に様々な事を教えていただく場面の提供や声掛けを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	はるかぜでのケアは、入居者・ご家族・職員と3本柱であるという気持ちを常に持ち、ケアを行うようにしている。本人だけでなくご家族の気持ちにも寄り添う様にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	在宅での生活中の近隣の友人や以前入居されていた時のスタッフなどが面会に来られた時には居室でゆっくり話ができるようにお茶やお菓子を提供している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の情報をスタッフが常に把握し、定期的に席替えを行っている。また職員を交えて誰とでも気軽に会話できるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居者が退所された後も家族からの相談を受けたり、行き先の施設や病院を訪問して、関係性を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の話はよく傾聴し、今、何を望んでいるのかを常に観察し理解するように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活をされていた中で趣味やできる事を把握し、一日の流れを職員と共に楽しくできるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人に合った生活リハビリ「洗濯物たたみや野菜の皮むき」などをしてもらうように声かけしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	プラン新規作成や見直しの時には必ずカンファレンスを行っている。これまでの振り返りを忘れずに本人・ご家族・関係者・スタッフの意見も聴いて介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケア・気づいたことは、個別に記録をしている。申し送り時も、即、口頭で伝えて情報は共有する様にしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	いつでも、家族・主治医との連絡はとれる様にしている。他科受診も本来ご家族となっはいるが家族の状況により、当事業所で柔軟な姿勢で臨んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	できるだけ地域の行事に参加し、地域のふれあいを大事にしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は、契約時にご家族や本人の希望を聞いていて決めている。まず主治医に電話などで聞き、適切な医療が早めに受けられる様に支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同系列で隣接する老人保健施設と内線で連絡をとれるようになっており、緊急時にはすぐ看護師がかけつけられる体制が整っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合、すぐに本人に関係する情報を入院先に提供している。入院後は面会に行き、ご家族とも情報交換をしながら速やかに退院できるように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所にて出来る事、出来ない事をご家族に説明している。利用者が重度化した場合、かかりつけ医と相談した上で出来るところまではケアをしていくが、終末期ケアについてはまだ準備中である。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職場内研修の参加者全員に急変時の初期対応のマニュアルを配布し研修をしている。無断外出や、事故発生時は緊急連絡網があり、即、対応ができる体制である。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施している（火災・地震）また地域が実施する防災訓練にも参加し、運営推進会議でも出席者へ「もしもの時」の協力を依頼している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇セミナーに参加して接遇マナーの習得に努めている。また日ごろから言葉使いに気を配り、指示や命令口調にならないように常に職員同士注意し合っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声掛けは常に同意を得られるよう「いかがですか」、「しませんか」など声掛けにも注意している（選択肢を与えている）		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個別性を大切にし、ご本人が可能なレクリエーションに声掛けし、参加していただいている。またご本人の意見を尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	外出の際や入浴後は、本人が好む服を選んで頂き、タンスの中の整理を本人と共に行っている。2ヶ月に1回地域の美容師が来所し好みを聞いてカットしてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事形態はお一人お一人に合わせて彩りも工夫している。食事の準備も皮むきなどできることに関わって頂く様にして食事を楽しんでもらっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の食事量、水分量は記録し、口頭で申し送る。栄養のバランスやカロリーについては年に一回同系列の病院の管理栄養士に提出して評価をしてもらっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、職員が入居者を洗面台までお連れして口腔ケアの支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄はトイレですて頂くのが基本という考えです。一人一人の排泄パターンを把握して職員がトイレと一緒にいき排泄するように促している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の予防に向け十分な補水、運動に努めている。また、排便の確認を行い、個々に記録し、排便コントロール調整も職員間で申し送りしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴日となっているが本人の希望がある場合は随時入浴できる環境にある。温泉である為、喜んで入浴されている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、軽体操やレクリエーション活動を促し、生活のリズムを整える様にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者の薬状は、いつでも見れるようファイルに綴じてある。介助で与薬しきちんと飲み込まれたかまで確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人に合った生活レクをして頂き、できた時は必ず評価し、お礼の言葉を伝える様にしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は買い物や公園へ出かける様にしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	いつでも使える様に小口現金を家族からお預かりし、金庫の中に保管している!本人が希望すればいつでも買い物ができる状態にある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族からの電話は本人に繋ぎ、手作りの年賀状を発送している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの壁面に季節感を取り入れた張り紙などして、また昔からの音楽など取り入れ一緒に唄う機会を設けている。		
53		共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや1人掛けの椅子を設置して、入居者同士が自由に過ごされよう工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使用していた、タンスや小間物をももってきて頂き安心して、居心地良く過ごせる様に配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やホールにも手すりを設置して、トイレも分かりやすく表示している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
			1 ほぼ全ての利用者が

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		4 ほとんどいない
			1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
			1 ほぼ毎日のように
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
67	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		4 全くいない
			1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
68	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない